

## 全国学力・学習状況調査を授業改善に生かす 9

中学校 国語B

H27. 7. 17

「全国学力・学習状況調査を授業改善に生かす」シリーズも、今回で最終回となります。平成27年度の国語Bは、次のような問題が出題されていました。



- 1 自分の特技についてスピーチをする場面を設定  
【ノートを発表で活用する】【フリップを作成し活用する】
- 2 2020年東京オリンピック・パラリンピックに関するウェブページ  
【ウェブページの文章を読む】【日本の人口推移を表したグラフを読み取る】  
【ロボットの開発に関する雑誌の記事を読む】
- 3 小泉八雲が書いた怪談「貉」  
【自分の考えをもつ】【根拠を明確にする】【立場を明確にして自分の考えを述べる】

B 主として「活用」に関する問題と出題の趣旨

- 国語 1 資料を作成して発表する。(オカリナについて)  
状況に応じて、資料を活用して話す。  
効果的な資料を作成し、活用して話す。  
資料の提示の仕方を工夫し、その理由を具体的に書く。
- 国語 2 情報を関連させて読む。(2020年の日本の社会)  
目的に応じて文章を要約する。  
文章の中心的な部分と付加的な部分などを読み分け、要旨を捉える。  
複数の資料から適切な情報を得て、自分の考えを具体的に書く。
- 国語 3 文学的な文章を読む。(小泉八雲「貉」)  
表現の工夫について、自分の考えをもつ。  
文章の構成や展開などを踏まえ、根拠を明確にして自分の考えを書く。



国語Bは、図や表(フリップ)、グラフなど多様な資料を読み取ることが求められています。中学校においてもPISA型読解力との関連が深いことが分かります。詳しくは、「**全国学力・学習状況調査を授業改善に生かす5**」をご覧ください。

## 指導に当たって大切なこと

### 1 資料を作成して発表する。

#### (1) 補助的な資料を準備して活用させる。

- 実物を示すなど、聞き手の理解を促すための資料を準備させる。
- 質問に回答する場面や、聞き手の反応や時間的な余裕に応じて話を追加する場面などで、補助的な資料を活用させる。

#### (2) 資料の提示の仕方を工夫しながら話すように指導する。

- 資料や機器を活用させる。
- リハーサルなどを通して、相互に助言する中で修正を加えていく際、なぜそのように修正するのかという理由を説明するように指導する。

### 2 情報を関連させて読む。

#### (1) 資料の特徴を踏まえて、要旨を捉えさせる。

- 文章の構成を踏まえたり、図や表と関連付けたりして内容を理解させる。
- 段落相互の関係を検討して、文章の構成を確認させる。
- キーワードを抜き出させる。
- キーワード同士の関係を整理させる。

#### (2) 複数の資料から適切な情報を得て、自分の考えをもたせる。

- 資料相互の関連性を整理し、それらの資料と自分の考えとのつながりを確認させる。
- 学校図書館やインターネットなどを活用させる。
- 新聞を教材に取り入れる。

### 3 文学的な文章を読む

#### (1) 表現の工夫に注意して読み味をわわせる。

- 細部の表現に注意して読ませる。
- 文章全体を俯瞰して読ませる。
- 話し言葉と書き言葉との違いや敬語の使い方などに着目させる。

#### (2) 文章の展開について自分の考えをもたせる。

- 作品の全体像を捉えた上で、場面の役割等を分析的に考えさせる。
- 話合いを通して見えてきた文章の特徴が、作品について自分の考えをもつ際の根拠となっていることを確認させる。



「平成27年度全国学力・学習状況調査解説資料」において、さらに詳しく説明されていますのでご覧ください。

また、「全国学力・学習状況調査中学校の結果を踏まえた授業アイデア例」も大変参考になります。

※ 国立教育政策研究所のHPからダウンロードできます。

## B問題への対応のために

○ 知識・技能を活用して、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力を身に付けさせる。

➡ 講義形式の授業から生徒主体の授業へ

➡ 課題解決過程として「単元を貫く言語活動」を設定

➡ 定着確認シートの問題を活用し授業改善

単元を構想する際、基礎的・基本的な知識や技能をしっかり定着させた上で、活用するというのが理想です。しかし、国語科は、活用するためにどんな基礎的・基本的な知識や技能が必要か見えにくい教科です。そのため、まず活用問題を行い、「できないこと」を教師と生徒が認識した上で、「できないこと」に関わる基礎的・基本的な知識や技能を補充し、再度、活用を行うという方法が有効です。

また、基礎的・基本的な知識・技能の指導においては、一斉指導が有効な場合もあります。単元を貫く言語活動を設定した上で、単元構成を工夫してください。

